



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月6日

上場取引所 東

上場会社名 カネコ種苗株式会社

コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金子 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務部長

(氏名) 長谷 浩克

四半期報告書提出予定日 平成29年1月12日

配当支払開始予定日

TEL 027-251-1619

平成29年2月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	23,900	△3.9	315	△35.8	351	△35.7	237	△32.9
28年5月期第2四半期	24,881	0.3	491	△8.6	546	△8.5	354	△4.8

(注) 包括利益 29年5月期第2四半期 395百万円 (12.4%) 28年5月期第2四半期 351百万円 (△35.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	20.24	—
28年5月期第2四半期	30.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第2四半期	33,179	16,405	49.4	1,397.21
28年5月期	43,186	16,198	37.5	1,379.56

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 16,405百万円 28年5月期 16,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	11.00	—	16.00	27.00
29年5月期	—	11.00	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	14.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年5月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,100	0.0	2,050	△4.4	2,200	△3.6	1,470	0.3	125.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年5月期2Q	11,772,626 株	28年5月期	11,772,626 株
29年5月期2Q	31,377 株	28年5月期	31,189 株
29年5月期2Q	11,741,346 株	28年5月期2Q	11,742,193 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年6月1日～平成28年11月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や円安に伴う輸出関連企業の収益かさ上げ期待などの好材料があるものの、中国の景気減速懸念、また、日本銀行が掲げる2%の物価安定目標の達成は実現に至らないなど、景気の回復は足踏み状態が続いております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、農業に多大な影響を及ぼすと想定されるTPP（環太平洋パートナーシップ協定）については、トランプ次期米国大統領が離脱を表明するなど、不透明感が高まっております。

このような状況のなか当社グループの業績は、農材事業や種苗事業が順調だったものの、施設材事業がこれまで大きく伸長した反動などから低調に終わり、前年同期と比べ後退いたしました。

売上高239億円で前年同四半期比9億81百万円（3.9%）の減収となり、利益面でも営業利益3億15百万円で前年同四半期比1億75百万円（35.8%）減、経常利益3億51百万円で前年同四半期比1億95百万円（35.7%）減、親会社株主に帰属する四半期純利益2億37百万円で前年同四半期比1億16百万円（32.9%）減となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、野菜種子関係でカボチャの輸出やレタスの国内販売が伸長したことや、緑化工事用種苗の販売が増加し、売上高34億22百万円で前年同四半期比1.6%の増収となり、利益面においても、セグメント利益は4億29百万円で前年同四半期比5.6%増となりました。

花き事業

花き事業においては、家庭園芸資材の需要低迷などにより、売上高34億8百万円で前年同四半期比2.7%減収となりました。利益面においては、家庭菜園向けオリジナル野菜苗の販売増により採算性が向上したことや、販売費及び一般管理費が減少したこと、セグメント損失66百万円（前年同四半期のセグメント損失は79百万円）で損失は減少いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント利益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

農材事業

農材事業においては、除草剤の需要増や企画提案力を生かした営業展開で販売増となり、売上高106億59百万円で前年同四半期比4.4%増となり、セグメント利益も1億60百万円で前年同四半期比78.2%増となりました。

施設材事業

施設材事業においては、前期、前々期と業績上積み要因となった雪害復旧需要が一巡したこと、売上高62億97百万円で前年同四半期比18.3%減となり、セグメント利益も2億7百万円で前年同四半期比55.5%減となりました。

造園事業

売上高1億12百万円で前年同四半期比28.4%増となったものの、セグメント損失は4百万円（前年同四半期のセグメント損失は3百万円）と損失が拡大いたしました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は331億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して100億7百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、167億74百万円となり、前連結会計年度末と比較して102億14百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

「純資産の部」の残高は、164億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億6百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して60百万円減少し、38億31百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、12億24百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

これは主に、仕入債務の減少額117億92百万円が、売上債権の減少額93億76百万円及びたな卸資産の減少額12億98百万円を上回ったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、61百万円（前年同四半期比15.1%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出64百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、12億26百万円（前年同四半期比21.4%減）となりました。

これは主に、営業活動により使用した資金を、短期借入金で調達したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月11日の「平成28年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,225,368	4,165,256
受取手形及び売掛金	22,162,699	12,830,657
商品	7,254,228	5,852,845
その他	1,343,698	1,938,134
貸倒引当金	△76,747	△44,171
流動資産合計	34,909,248	24,742,723
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,196,523	4,196,523
その他（純額）	1,714,512	1,731,191
有形固定資産合計	5,911,036	5,927,715
無形固定資産	55,534	40,243
投資その他の資産		
その他	2,323,724	2,488,132
貸倒引当金	△12,564	△18,956
投資その他の資産合計	2,311,159	2,469,175
固定資産合計	8,277,730	8,437,135
資産合計	43,186,978	33,179,858
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,501,299	11,233,737
短期借入金	935,000	2,395,000
未払法人税等	367,467	117,467
その他	1,274,069	1,118,147
流動負債合計	25,077,836	14,864,352
固定負債		
退職給付に係る負債	1,658,399	1,673,179
役員退職慰労引当金	127,075	111,850
その他	125,617	125,454
固定負債合計	1,911,091	1,910,484
負債合計	26,988,928	16,774,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,221	1,765,221
利益剰余金	12,835,421	12,885,231
自己株式	△20,984	△21,236
株主資本合計	16,070,925	16,120,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	518,337	653,308
退職給付に係る調整累計額	△391,212	△368,770
その他の包括利益累計額合計	127,125	284,538
純資産合計	16,198,050	16,405,021
負債純資産合計	43,186,978	33,179,858

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日）
売上高	24,881,662	23,900,568
売上原価	20,988,508	20,167,231
売上総利益	3,893,153	3,733,336
販売費及び一般管理費	3,401,418	3,417,585
営業利益	491,735	315,751
営業外収益		
受取配当金	18,526	16,371
受取家賃	30,707	29,094
その他	18,502	8,484
営業外収益合計	67,736	53,950
営業外費用		
支払利息	12,505	9,833
為替差損	-	8,412
その他	6	-
営業外費用合計	12,511	18,245
経常利益	546,961	351,456
特別損失		
投資有価証券評価損	2,772	-
固定資産処分損	2,866	17
特別損失合計	5,638	17
税金等調整前四半期純利益	541,322	351,439
法人税等	187,122	113,765
四半期純利益	354,200	237,673
親会社株主に帰属する四半期純利益	354,200	237,673

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日）
四半期純利益	354,200	237,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,260	134,971
退職給付に係る調整額	3,648	22,441
その他の包括利益合計	△2,612	157,413
四半期包括利益	351,587	395,086
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	351,587	395,086

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	541,322	351,439
減価償却費	106,003	102,870
売上債権の増減額（△は増加）	10,663,171	9,376,254
たな卸資産の増減額（△は増加）	971,038	1,298,394
仕入債務の増減額（△は減少）	△12,706,821	△11,792,158
その他	△293,703	△239,300
小計	△718,989	△902,500
法人税等の支払額	△469,671	△328,192
その他	4,672	5,755
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,183,988	△1,224,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△86,935	△64,888
その他	14,559	3,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,375	△61,462
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,730,000	1,460,000
配当金の支払額	△163,813	△181,558
その他	△6,760	△52,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,559,426	1,226,288
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	303,062	△60,112
現金及び現金同等物の期首残高	2,365,064	3,891,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,668,126	3,831,756

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年6月1日 至平成27年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3,369,725	3,503,665	10,210,187	7,710,747	87,338	24,881,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,820	438	644	1,645	—	20,547
計	3,387,545	3,504,103	10,210,831	7,712,392	87,338	24,902,209
セグメント利益又は損失（△）	406,208	△79,657	90,226	466,079	△3,945	878,911

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	878,911
全社費用（注）	△387,176
四半期連結損益計算書の営業利益	491,735

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年6月1日 至平成28年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3,422,872	3,408,617	10,659,379	6,297,578	112,122	23,900,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,313	55	953	1,472	—	18,793
計	3,439,185	3,408,672	10,660,332	6,299,050	112,122	23,919,361
セグメント利益又は損失（△）	429,070	△66,719	160,818	207,625	△4,719	726,075

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	726,075
全社費用（注）	△410,324
四半期連結損益計算書の営業利益	315,751

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。